

大学コンソーシアムあきた平成19年度事業計画（案）

■ 理事会・運営委員会等の開催

規約、事業計画(提供科目の方針)、収支予算の決定、事業報告及び収支決算報告などのため、理事会・運営委員会その他必要な会議を開催する。

■ 拠出負担金の収入

理事会決定の規約に基づき、構成機関の拠出負担金を収入する。併せて、秋田県補助金の交付申請を行う。

拠出負担金(大学)	@300,000×5校=1,500,000	秋大、県大、教養大、経法大、看護福祉大
〃 (短大等)	@100,000×8校= 800,000	美短、栄養短、聖霊短、日赤短、 聖園短、高専、放送大、職能短大
	計 2,300,000	

■ 大学間連携の推進<教育研究部会>

1 単位互換協定の運営

秋田県における大学、短期大学及び高等専門学校間の単位互換に関する協定の改廃を要する事案に関する協議、決定のほか、単位互換全般の運営を行う。

<新協定有効期間>19.4.1~22.3.31 <協定参加機関>11大学等

2 カレッジプラザ開講単位互換授業

カレッジプラザを会場として協定に基づく単位互換授業を開講する。学生が興味を持てる科目を夏季休暇期間等を活用した集中講義形式で提供するなどのコーディネート科目を中心に実施し、科目提供大学等との調整や受講案内資料の作成及び広報、会場及び機器の設営などを行う。

<提供科目数>3科目程度

3 大学コンソーシアムあきた聴講生

カレッジプラザで開講される単位互換授業に、大学生以外にも一般県民を大学コンソーシアムあきた聴講生として受け入れ、当該聴講生から聴講料を徴収する。

4 職員研修講演会

構成機関事務職員の大学運営に関する能力をはじめ幅広い知識の涵養など一層の資質向上を図るため、職員を対象とする講演会や研修を実施する。

財務、教務など大学運営全般、又は地域貢献活動等大学事務職員のスキルアップに資する分野をテーマにし、管理職を含む事務職員を対象に実施する。

■ 地域貢献活動の推進〈地域貢献部会〉

1 連携公開講座

構成機関の知的資源を活用し、それぞれの特色を発揮しながら相互に連携し秋田県の地域課題の解決を図る、又は解決方向を示唆する公開講座を各大学等とテーマ等を調整して実施する。

- 〈テーマ選定〉 地域貢献部会で取り組みテーマ（2テーマ程度）を協議
- 〈開講方式〉 構成大学等がテーマ毎の担当講師を推薦し、それぞれの参画の視点を持ち寄ってワーキンググループを構成する
- 〈開講回数等〉 テーマ毎に5回程度とし、各回を2名程度の講師で構成、全体構成はコーディネーターが調整。10～11月頃開講
- 〈開講場所〉 カレッジプラザのほか県北・県南地域での開講も検討する

2 高大連携授業の実施

高校生が学問への関心を高め、あるいは進路決定の参考となるよう大学及び短期大学等の授業を受講する機会を設ける。

- 〈実施時期〉前期：5～7月実施、4月募集、週1回ペース／5週
- 後期：9～11月実施、8月募集 //

〈会場〉カレッジプラザ、大館市、由利本荘市、横手市

〈科目〉各大学等の特色を生かし、受講希望者が見込める科目を開講

〈授業運営〉(1) 担当講師所属大学の学生を参加させ、授業時間の一部を利用して高校生との意見交換や座談会の機会を設ける。

これにより、実際の大学での勉強や学生生活について、等身大のイメージによる導入の効果が期待できる。

(2) 実験・実習を伴う科目の場合は、5回のうちの数回を大学で実施するなど、講義以外にも体験を重視して行う。

(3) 受講者アンケート及び自由記載欄により受講生の意見や感想を聴取する。

3 社会人講座

県内高等教育機関の教育研究資源を地域に還元するために、主に社会人を対象に、体系的な知識の習得を目指す質の高い教育機会を、受講者にとって利便性の高い手法により提供することを目的とする。

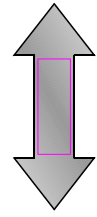
この講座で提供される授業科目の内容は、既存の一般的な生涯学習サービスとの一定の差別化を図り、大きく「実学系」（知識の有用性を重視）、「教養系」（質の高い学びの楽しみを重視）という2つの軸を設け、大まかな類型を次のとおりとする。

- 職業や各種社会活動に役立つ知識・技能に関するもの
(経営、医療・福祉、教育、地域活動等)
- 政治・経済・社会・科学技術の動向に関するもの
(経済・産業情勢、地域研究、国際関係等)
- 文化、芸術、歴史など高度な教養に関するもの

実学系

中間

教養系



- <開講科目数> 20科目程度
- <開講場所> カレッジプラザのほか県北・県南地域での開講も検討
- <受講料> 受講者から1コマあたり400円の受講料を徴収する

4 サイエンスプラザ(仮称)

サイエンスカフェは従来の講演会やシンポジウムとは異なり、科学者と市民がコーヒーなどを片手に科学について気軽に語り合う新しいコミュニケーションの手法であり、科学者と一般の人とが同じ目線に立ってコミュニケーションをすることを目的とする。

街の中に気軽に参加できるコミュニケーションの場を作ること、科学者と市民との対話を促し、先端研究の世界と社会との接点を作ること、オーガナイザーによるユニークなサイエンスカフェをカレッジプラザで開催する。理系分野に限らず、暮らしに身近なテーマでの定例開催を目指す。

各回の講師・テーマを計画することで、一括した広報活動を展開する。

開催場所 カレッジプラザ交流スペース又は明德館ビル1階喫茶「仲こまち」

運営方法 大学等はオーガナイザーを推薦し、日時とテーマを設定する。企画部は広報と参加者の受付、飲料等の手配、会場設営を担当。

参加費 一人400円程度(社会人講座受講料と同額程度)

主な対象 テーマに関心のある社会人

講師謝金 1回1万円程度(資材費別)

- テーマ例**
- ・地球温暖化
 - ・遺伝子組換え植物
 - ・地球と異常気象
 - ・電池の原理
 - ・地震と防災 など

<告知記事掲載イメージ>

△情報告知板▽
◆「サイエンスプラザ」○月○日(金)午後7時〜8時・秋田市仲小路・明德館ビル・カレッジプラザで、秋立大学の○○△教授が、「微生物との共存」をテーマに講演する。微生物をいかに利用し、共存するかを参加者と共に考える。サイエンスプラザは毎月第2金曜開催。次回テーマ等は同プラザHPに掲載(年末までの開催テーマと講師名を案内中)。参加費一人四百円。科学に興味のある方ならどなたでも。申込は同プラザ。

その他 テーマや参加者の希望によっては、参加者同士のネットワーク構築を図るため、近隣施設を利用し会費制で軽食をとりながらの形式も検討する。

コンセプト アットホームな雰囲気の中、科学者と参加者が直接会話を楽しむことを目的に開催。科学について知らなくても大丈夫、必要なのは、ちょっとした興味だけ。「気軽に参加でき、少人数で自由に話せるのが魅力」となるように運営します。

5 各大学主催公開講座の開講推奨

各大学等が主催する公開講座や研究会の開催を働きかけ、カレッジプラザを会場に実施する。これにより、利便性の高い場所で大学の知的資源を県民に提供する教育サービスを一層活発化する。

6 地域貢献活動の広報

- ホームページによる講座情報などの随時提供
- 情報提供連携公開講座など構成大学等が取り組む地域貢献活動を紹介するリーフレットの作成
- 大学コンソーシアムあきた2年目のあゆみ(仮称)の発行
- 県民ニーズの一元的な対応窓口として各大学との調整等役割を担う

■ 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

毎年開催される全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムに参加し、教育研究、地域貢献活動等の情報交換を行う。

■ 年間の事業スケジュール

<div style="text-align: center;">会議 出席</div> 時期	理事会	運営委員会	教育研究部会	地域貢献部会
	学長等	委員、事務担当	委員、事務担当	委員、事務担当
19年4月		前年度事業報告 決算審査 構成機関の異動 委員の異動報告		
5月	前年度事業報告 決算承認 構成機関の異動 理事の異動報告 理事懇談会		単位互換 前期授業	高大連携 前期授業
6月				
7月			単位互換 後期募集 協議	後期高大連携 開講協議
8月				連携公開講座 aテーマ
9月				
10月				
11月		運営状況協議	単位互換 後期授業	連携公開講座 bテーマ
12月				高大 連携 後期 授業
20年1月			来年度事業計画 前期募集協議	来年度事業計画
2月		来年度事業計画		
3月	来年度事業計画			

※社会人講座は年間を通して開講時期を調整する